

株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに第126期第3四半期（2019年4月1日から2019年12月31日まで）の営業概況をご報告申し上げます。

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では回復が続いたものの、米中貿易摩擦の影響等により、中国の景気減速が鮮明になる等、停滞感が強まりました。わが国経済は、雇用・所得環境の改善は続いたものの、輸出が引き続き弱含む中で、生産は一段と弱まり、製造業を中心に減速感がみられました。

このような状況下、当社グループは、中期経営計画「Growth & Change 2021」を本年度よりスタートし、収益力の向上及びグループシナジーの発現を優先課題として、生産体制の見直し等による固定費削減を中心とした諸施策に、鋭意取り組んでおります。グループシナジーの最大化を図るとともに、あらゆる視点からコスト改善に取り組み、収益力の向上に注力してまいります。また、社会のニーズを捉えた新事業・新製品の開発に引き続き取り組み、持続的な成長を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



2020年3月

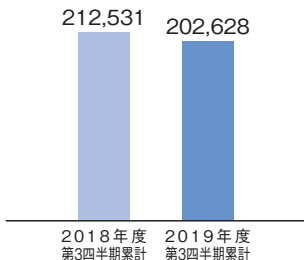
代表取締役社長

高松 信彦

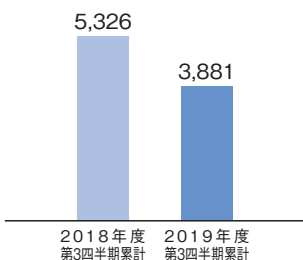
連結業績の推移

(単位：百万円)

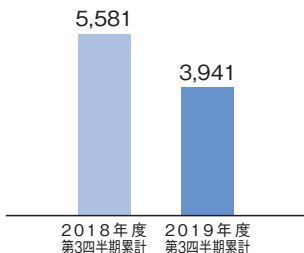
売上高



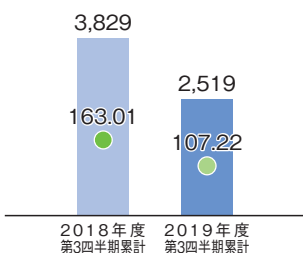
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期純利益 (■) (円)
1株当たり四半期純利益 (●) (円)



四半期連結貸借対照表 (要約)

(単位：百万円)

科目	2018年度末	2019年度 第3四半期末	科目	2018年度末	2019年度 第3四半期末
資産の部			負債の部		
流動資産	141,751	127,955	流動負債	97,907	82,727
固定資産	142,447	145,294	固定負債	73,929	77,378
有形固定資産	99,986	101,096	負債合計	171,836	160,105
無形固定資産	5,160	4,670	純資産の部		
投資その他の資産	37,300	39,527	株主資本	106,413	106,339
資産合計	284,198	273,249	その他の包括利益累計額	4,890	5,752
			非支配株主持分	1,057	1,051
			純資産合計	112,362	113,143
			負債純資産合計	284,198	273,249

セグメント別の営業概況

鉄鋼事業

売上高 56,104百万円 

営業利益 3,560百万円 

電炉業界においては、建設向け及び製造業向けともに鋼材需要は低調に推移しました。一方、主原料である鉄スクラップ価格は期初より大きく下落しました。

このような環境の中、販売価格と鉄スクラップ価格の値差が拡大するとともに、販売数量の維持と継続的なコスト改善にも取り組みました。

自動車・産業機械部品事業

売上高 134,647百万円 

営業利益 2,672百万円 

自動車業界においては、前年同期比で国内生産台数はおおむね横ばいとなりましたが、北米や中国では生産台数が減少しました。建設機械業界においては、中国や東南アジア等での販売減少や在庫調整に加え、国内での台風被害によるサプライチェーンへの影響により、前年同期比で日系メーカーの油圧ショベル生産は大幅に減少しました。また、資源価格の下落により、東南アジア等で鉱山機械需要が減少しました。

このような環境を受けて、アルミホイールの販売数量は増加したものの、建設機械用足回り部品や鉱山機械用ホイールの販売数量が大幅に減少したことに加え、その他の製品についても減少しました。

発電事業

売上高 6,849百万円 

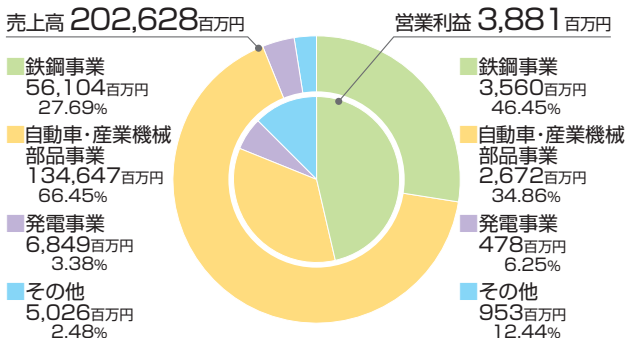
営業利益 478百万円 

事業計画に沿って安定した電力供給に努めてまいりましたが、需要の減少や価格競争激化等を背景とした厳しい事業環境の影響を受けました。

その他

売上高 5,026百万円 

営業利益 953百万円 



※セグメント別の営業利益及び構成比は、調整額調整前の数値で表示しております（合計7,664百万円）。

連結業績の予想

	2018年度通期 実 績	2019年度通期 予 想
売 上 高	286,227百万円	270,000百万円
営 業 利 益	7,505百万円	6,500百万円
経 常 利 益	9,357百万円	7,000百万円
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	7,114百万円	4,500百万円
1株当たり当期純利益	302.85円	191.53円

配当の状況

	2018年度 実 績	2019年度 実績・予想
第2四半期末	20.00円	40.00円
期 末	70.00円	20.00円
合 計	90.00円	60.00円

2019年度通期連結業績予想及び配当予想に関しましては、2019年11月1日に修正しております。



事業内容：建設機械、鉱山機械用ホイールの販売等

トピーアメリカ,INC.は、1985年より、トピー工業が日本で製造したダンプトラック用超大型ホイール（SGOR）の米国でのデリバリーを担ってきました。2007年には、OTR（Off The Road）部門を設置し現在に至ります。

シカゴ事務所（イリノイ州）は、建設機械・鉱山機械メーカー向けにトピー工業綾瀬製造所から輸送したSGORをはじめとするホイール製品を、自社倉庫で検品してOEM供給しています。ソルトレイク事務所（ユタ州）は、鉱山開発業者、タイヤディーラー等にホイールを供給するほか、自社倉庫で塗装剥離、定期検査、補修、再塗装等のホイールメンテナンスを行っています。

鉱山開発業者は、一般的に、ホイールを一定期間使用後に廃棄していましたが、至近時はより長期間使用することを指向し始めています。このようなユーザーニーズの変化を捉え、ホイールメンテナンスを新たなビジネスと位置づけ注力しています。

トピーアメリカOTR部門は、今後も高品質な製品とサービスをお客様に提供し続けることで、米国でのプレゼンスをさらに高めてまいります。



ソルトレイク倉庫